

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	体力向上推進事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	06	01	03	01
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	指導課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	西村 淳				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内小中学校児童生徒 流山市小中学校体育連盟	意図	体育行事等の充実により、児童生徒の体力の向上を図る。
事業内容	①健康増進や体力向上を目的とした行事や講習会を主催・支援する。 ②流山市小中学校体育連盟の活動を支援する。 ③生涯体育・スポーツに関する意識を培う。			
事業開始から現在までの状況変化	各学校で、部員数の増減により運動部活動数の維持について苦慮している状況も見られる。また、流山市の児童生徒の体力・運動能力調査の結果は小中学校とも県平均を下回っている項目もあるが、健康増進や体力向上に向け、日常的に運動する習慣を身につけていくことや、行事や講習会を主催し、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育む必要がある。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
指標	①	小学校運動部活動加入率	58.30	58.30	57	→→	小学校体育経営に関する調査における運動部活動の加入率	
	②	中学校運動部活動加入率	70.90	71.40	69.90	→→	(運動部活動加入総数/総数)×100	
	③	葛北大会出場部活動数	140	140	140	→→		
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 小学校の部活動加入率は、4～6年生の5割を超え、児童が運動する機会の増加につながっており、陸上競技大会、ミニバスケットボール大会ともに大いに盛り上がっている。 中学校においては文化系部活動への入部との関係から毎年上下するが、定期的に運動する生徒は多い。新体力テストにおいては、小中学校ともに運動能力証交付数の割合が高まっている。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		6,720,556	6,908,902	6,132,016				
事業費(b)(円)		5,690,806	5,902,102	5,143,216				
うち一般財源		5,690,806	5,902,102	5,143,216				
職員給与費(c)(円)		1,029,750	1,006,800	988,800				
人役・職員(人)		0.15	0.15	0.15				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	児童生徒の発育・発達の程度に合わせたスポーツ活動を通して、健康増進や体力向上を図るため、行事や講習会を主催・支援する。	③取組における課題(Check)	体育的行事や講習会の内容をより充実させる必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	体育的行事や講習会の主催・支援を行った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	体育的行事や講習会の内容を精査し、より充実した内容にしていくことで、健康増進や体力向上を図る。